

教科	工業	科目名	住環境デザイン	単位数	2
学科	インテリア	学年	2 学年	履修区分	選択
使用教科書	色彩検定 公式テキスト2級(発行:株式会社A・F・T企画)				
副教材など	新配色カード199a (日本色研事業株式会社)				

1. 科目の目的

住環境を計画する際、視覚からの情報が大きな役割を果たすが、特に色を与える心理的効果は大きい。快適な住空間を計画するためには、「色彩」を論理的に理解しておくことが重要である。2年次では光の性質、眼の構造、色の表現など基礎的な知識を学び、次年度で学ぶ専門科目に発展することができる知識・能力を育てることを目的とする。

2. 授業の内容と進め方

教科書を理解させるだけでなく、光の性質や眼の構造などは、動画や写真などを利用し視覚的に理解させたり、配色に関しては配色カードを使用して実際に色を組み合わせながら、体験的に理解させるように授業を進めていく。

3. 学習する上での留意点

色の持つ様々な働き、基本的用語や概念、日常使われている基本的な色名やその由来、光とは何か、光と様々な色彩現象を身近な生活と関わりを持たせながら学習する。

また、色の表現や特性の理解を深めるために、プリント、写真、ビデオなどの視覚的教材を取り入れ理解を深めていく。

4. 課題等について

1) 各単元において小テストを行い、そこまでの内容理解度のチェックをし、理解が不足していれば補習・再テストを繰り返す。

2) レポートおよび課題プリント

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技術	色彩(色の本質・体系、色の見え方・感じ方、色の混色、配色)、ファッション、インテリア、環境コーディネート等、の基礎的・基本的な技術を身に付けているか。また、新たな視点から応用発展的に捉え、実際に活用する能力と実践的な態度をもち、デザインや配色として具現化する能力を身につけているか。
思考・判断・表現	色彩(色の本質・体系、色の見え方・感じ方、色の混色、配色)、ファッション、インテリア、環境のコーディネート等の情報の基本的な知識や技術を活用し、思考・判断し、具体的な事象に対して深く考えとともに適切に判断しているか。
主体的に学習に取り組む態度	身近な生活空間にある色のコーディネートに関心を持ち、進んでその色の働きや効果について調べ、得た情報について自分の考えを持ち、伝え合おうとしたか。

6. 評価の方法

評価については、定期考査の成績や課題の提出状況、授業態度、授業・課題への取り組む姿勢を総合的に判断する。

1) 定期考査(授業計画にある通り1年間に5回実施される)定期考査の結果をもとに学習の内容の理解度、定着度を評価する。

2) 授業への取り組み(発表・学習活動への意欲・出席状況)学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢を評価する。

3) 課題への取り組み

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	1.生活と色 (1)身の回りの色の見え方	案内表示や店舗の看板など、身の周りには「色」を利用した視覚コミュニケーションが溢れている。見せたいもの、伝えたいことをいかに効果的に表示するか、その性質、配色の考え方を学ぶ。	行動観察 質疑応答
	5	2. 光と色 (1)光の性質と色	色はその物体を照らしている照明により、見え方が変化する。光の性質から色見え方を理解する	ノート
	6	(2)視覚系の構造と色	色や形を認識するためには視がないと認識することができない。ここでは眼が色を認識するまでの過程や構造、視細胞、眼の特性について理解する。	中間考査 課題
	7	(3)照明の表し方 (4)ランプの種類	色は照明の種類により変化する。各照明の種類や色温度や照度の違いを理解する。 各照明の特徴と、具体的にどのような空間で利用するのか、具体例を参考にしながら学習する。	ノート 期末考査 課題
二 学 期	9	3. 色の表示 (1)マンセル表色系	マンセル表色系の特徴や、色を表示する際の表示方法を学ぶ。	行動観察 質疑応答 ノート
	10	(2)色名	JISの系統色名の表示方法について、理解する。	中間考査 課題
	11	4. 色彩調和 (1)色彩調和	配色の調和について、その原理を理解する。	行動観察 質疑応答 課題
	12	(2)自然の秩序からの色彩調和 (3)自然から学ぶ配色	自然の中に存在する色の組み合わせから、「ナチュラルハーモニー」「コンプレックスハーモニー」の配色方法、考え方、実際の商品の配色例を学習する。 夕焼けや、霧がかかった風景から、「ドミナント効果」を実例を見ながら、理解する。	ノート
三 学 期	1	5. 配色イメージ (1)配色イメージ	空間や商品などの色を決定する際には、空間や商品をイメージする配色を選択する必要がある。ここでは、三属性とトーンから作り出す色のイメージを理解しする。	ノート 期末考査 課題
	2	6. ビジュアル (1)ビジュアルデザインと色彩	ビジュアルデザインには、「グラフィックデザイン」「パッケージデザイン」「Webデザイン」「ディスプレイデザイン」「サインデザイン」があり、言葉や文字だけで表現するには限りがあり、その中で色が与える影響は大きい。それぞれの具体例から、ターゲットによる配色の考えなどを学習する	行動観察 質疑応答 課題
	3			ノート 期末考査 課題